

事後評価結果（平成18年度）

担当課：関東地方整備局道路計画第一課
担当課長名：濱田 禎

事業名	一般国道52号 寿町拡幅		事業区分	一般国道		事業主体	直轄			
起終点	自：山梨県甲府市寿町 至：山梨県甲府市寿町				延長	0.5 km				
事業概要 寿町拡幅は、甲府市寿町地先を通過している一般国道52号の延長0.5kmの道路拡幅事業です。甲府市の寿宝地区土地区画整理事業に合わせて実施され、電線類の地中化、景観整備も同時に実施します。										
事業の目的・必要性 寿町拡幅は、一般国道52号の道路拡幅、線形改良を行い、甲府市街地の交通混雑緩和、沿道の環境改善を図るとともに、中心市街地へのアクセス強化、地域の活性化を推進する目的の事業である。隣接する国道52号上石田改良事業と一体的に事業を進める路線として計画された拡幅事業である。										
事業概要図 										
事業の効果等	事業期間	事業化年度	S61年度	用地着手	H2年度	供用年	(当初) / H13	変動	倍	
		都市計画決定	S61年度	工事着手	H5年度	(暫定/完成)	(実績) H11 / H16			
	事業費	計画時 (名目値)	/ 50億円	実績 (名目値)	/ 53億円			変動	1.04倍	
		暫定/完成 (実質値)	/ 79億円	暫定/完成 (実質値)	/ 82億円					
	交通量 (当該路線)	計画時 暫定/完成	/ 39,200台/日			実績 暫定/完成	/ 22,000台/日			変動
旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)	19.3	29.3km/h (供用直前年次) H16年度 (供用後年次) H18年度		交通事故減少 (供用前現道 供用後現道)	204.5	70.6件/億台キロ (供用直前年次) H11年度 (供用後年次) H17年度				
費用対効果分析結果 (当初)	B / C	4.0	総費用	59億円 (事業費: 56億円, 維持管理費: 2億円)	総便益	233億円 (走行時間短縮便益: 209億円, 走行経費減少便益: 21億円, 交通事故減少便益: 2億円)	基準年	H13年		
費用対効果分析結果 (事後)	B / C	3.4	総費用	75億円 (事業費: 73億円, 維持管理費: 2億円)	総便益	255億円 (走行時間短縮便益: 229億円, 走行経費減少便益: 23億円, 交通事故減少便益: 2億円)	基準年	H18年		
事業遅延によるコスト増	費用増加額		16億円		便益減少額	23億円				
事業遅延の理由 用地交渉における住民側（一部の沿道店舗等）からの異議申し立て										
客観的評価指標に対応する事後評価項目 ・渋滞緩和 ・交通事故の減少、 ・市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携										
その他評価すべきと判断した項目										
事業に	環境影響評価に対応する項目									

よ る 環 境 変 化	その他評価すべきと判断した項目
	事業を巡る社会経済情勢等の変化
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 今後は、引き続き交通状況並びに沿道環境等の状況把握に努め、適切な維持管理を実施するとともに、状況の変化が見られた場合は必要に応じた改善措置を講じる。
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 事業を行うにあたっては計画的に事業を進めるとともに、用地買収においては速やかに収用手続きに移行するなど、早期の整備効果発現、及び供用目標の達成ができるよう、事業推進に努めていくことが重要である。
	特記事項

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。